

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

子
之
大
功

[Handwritten Japanese calligraphy]

これより先き并宜之弱
の如き事あり即揮候
此中何意をいふに
是れ新
也

再臨此に於て其の
事の如き事あり即揮候
此中何意をいふに
是れ新
也



[illegible]

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

りむち水戸多き事一山歌に歌ふ事

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

お返しに金銀を奉る事とす一月二日月

井田江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

其の江守家系表

玉田里振中
 民別成
 玉田里振中
 民別成
 玉田里振中
 民別成

三

[illegible]

卷之五

何如

夢郎

子
子
子
子
子

17-30

[illegible]

後...
...
...
...
...

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

時

子

[illegible]

入五折頁

入金砂子

入金三

入主

五
六

1. 10. 10. 10.

入堂

人海詩歸

入重

入金部

河津七三子生

之律系玉佐中らる

年五十七

中書省

李

三

卷之五

而

三

常々物置ナ、夜長ハ四区ノ遺物ニテ
全ク引取モ未ダセズ困タ明テカ望ス

貴命、起、侍、ヒ、リ、萬、家、

無、餘、義、次、弟、ニ、テ、修、業、

モ、甚、而、愛、重、至、リ、居、リ、外、也、ハ、侍、

君、ハ、イ、ガ、知、ラ、ス、ト、ハ、虫、モ、修、業、ハ、

一、所、持、致、サ、ス、所、即、幸、當、番、

陰、シ、明、常、出、張、ヤ、シ、マ、ル、中、ハ、味、

張、角、神、侍、袴、袴、ニ、侍、ノ、字、

ミ、テ、侍、用、ヲ、勤、メ、而、シ、テ、ハ、
口、糊、コ、ス、ル、ヲ、以、テ、故、ウ、コ、ト、テ、出、張、

強、サ、シ、ム、其、故、ハ、平、日、四、十、兩、取、

、郡、長、様、ハ、ヤ、ラ、カ、イ、先、リ、ア、

、衣、類、ヲ、着、セ、ル、モ、修、業、七、

、同、取、リ、ノ、得、テ、な、フ、タ、ミ、ア、ウ、サ、レ、ハ、矢、

張、此、常、ノ、時、ノ、角、神、侍、袴、

、如、ク、修、業、ハ、万、々、ナ、ル、モ、垢、シ、

其政ハ平日四兩取

、郡長様ヤラカイ先リ、ア

衣類ヲ着セ、モ僕等七

回取リ、海ヲカフ、ア、ア、ア、ハ矢

張、此、時、南、神、侍、袴

、如、本、体、裁、ハ、万、々、ナ、ル、モ、垢、シ

ミ、タ、ル、縹、縷、ヲ、着、セ、居、ル、族

、ニ、テ、今、薄、給、ナ、ル、ヲ、羽、織、代

ヤ、袴、代、リ、五、十、ヶ、年、ニ、申、言、ハ

、ニ、到、底、言、フ、一、タ、シ、テ、行、ッ、カ、ラ

ル、フ、ト、有、シ、是、迄、思、ハ、シ、テ、居、セ

然、レ、氏、今、ヤ、尋、候、所、思、ハ、シ、口

モ、ア、シ、ハ、一、熊、不、同、ナ、カ、ウ、モ、相、談

ハ、仕、ウ、モ、先、ハ、守、リ、ス、リ

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, spanning two pages. The text is written on aged, slightly discolored paper. The right page contains approximately 15 lines of text, while the left page contains approximately 20 lines. The ink is dark, and the handwriting is fluid and expressive. A ruler is visible at the bottom of the image, indicating the scale of the document.

不
王
公
不
王

[illegible]

事業にてもト年々ナシハ陸テある處ニ就業モ法
 了あり其ノクハ虎惕ノミエハ其ノ下ノ法介
 紹リ以テ業ノ端ヲ出サシムルハ其ノ振動ヲ傳ヒ
 至ルルナキニ依テ其ノ苦只ハ其ノ年々幸ニ
 庸儂リ古トシテ曉日ナカラシメテナシ企望スル
 事ナシト知ルハ其ノ受命トシテ其ノ中ニ在リ
 心多ク不降ノ如キハ従テ其ノ法受テ上リ
 心ナシト知ルハ其ノ受命トシテ其ノ中ニ在リ
 心多ク不降ノ如キハ従テ其ノ法受テ上リ
 心ナシト知ルハ其ノ受命トシテ其ノ中ニ在リ
 心多ク不降ノ如キハ従テ其ノ法受テ上リ

乾

草

久向牙書孫

再傳ヤク、久々銘に昔皇國に名ヲ
掲ケテ下古冊ニ之ヲ一筆ノ意ヲ表シ知レ
ルナリ然レド雖モ多邊方字ニ至テ人民
文明ニテ迄ハ我々明ノ人等ヨリモ其理
氣未ダ熟シキアリヤサキヤ元化ト云フ
所既ニ消名ヤハ此ナラズ固循ニ
僞造也或ハ此學ノ事ヲ思ヘば消名ヲ
情ニおス保名ノ爲メ之ヲ忘ル眠覺ノ一
節ニシテ今モイワセテ固循ニ重シ
腐説ニまんず今日以テ如クおもふコト
實下ニ却石ノ法擬シ按親ノ機全
く失われ幸々これ破置て之を凡味ハ
るナラバ實觀驗アル舊法ノ故ト云
部年史を以て流布スルコト

一、その他ノ河ニ接スル後河ニ至リテ其通
利ヲ失フ事モ有ルモノハ、本族ニテ取替得
ル所富子ト古者彼富所内集メテアラハ
所席ニ向テ立テ去リテ而シテ、河後河ニ通利モ
ナク

[illegible]

丁巳

萬年壽

會月廿七日 慶昌寺 寺人 〇〇〇〇 〇〇〇〇

奉額馬池

先

果二

〇〇〇〇

報長

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

臨溪田宅



印
分
移回

真明寺代

卷之五

東
水
二

二

海
定
一
建
二
公
常
心

三井物産
小倉清
新嘉坡

如帝冕
治助
第清

情
萬
三
清

求學
卷二
三

楊子受 居厚

卷一

新
生
記
一
居
印

卷之五

帝位安所
一



弱法師 二

海 二

二 井 二

也 二

情 二

求 二

橋 二

岸 二

新 二

夕 二

帝 二

今 二

東 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

海 二

山

山

光

茂

茂

茂

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

山

[illegible]

郵報月限平有
 杜家漸之法、
 且其平衣、
 之、
 為年、
 旅人起業、
 以多去、
 玉、
 何生、
 美、
 依、
 少、
 小、
 到、
 此、
 是、
 其、
 油、
 大、

奉るん一海に所
 依はたふと多何ソ
 少事より西
 知事客々内庭ヤ
 是少一事并比
 酒田幸一観て
 申す日者村分おし
 到后長あ切角動突
 五子百居そ白健
 口民ヲ入業の成
 元平くく取振積
 少強名く句端至
 不能きり附下子臨
 我証素く云迄
 市実く増加る孤野
 ぬのナレハ仁全
 心相教る品科
 元松猶ける為
 今之



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written on aged, slightly stained paper. The script is dense and flowing, characteristic of 18th or 19th-century handwriting. There are several lines of text, some of which are crossed out with red ink. The text appears to be in a European language, possibly French or English, given the style and the use of red ink for emphasis or correction.

Red ink annotations and a circular stamp. The annotations are written in a cursive script, possibly Chinese or a similar East Asian script. The circular stamp is located near the bottom right of the page and contains text that is partially obscured by the red ink.

平三

馬

花

一

少

少

少

載

一

了

蘇

中

梅田

蘇



學名下書

戴月庵詩

乞

子

梅田

蘇子云

右本江市善考仲生
於子 異

中郎

2

海回春

卿生為海

少卿

帝用文成公
國子吳方

古井

[illegible]

方物志

林 金 山

三修志

三

以爲

張島の
川
口
の
下

[illegible]

[Illegible handwritten Japanese calligraphy]

子

吾并年長
 方知句他
 古詩云
 子行何如
 抑々知句他
 別成句
 以長年句
 子行何如
 別成句
 以長年句

右
少
明
三

卷之五 長生堂記 卷之五

子印考之十抄之
撰并傳記

南齊書卷之六

抄本

今程新到書并錄其新到書

蘇子瞻詩集卷之五 迎風

名如海內有詩所建上臺

蘇子瞻詩集

蘇子瞻詩集

蘇子瞻詩集

蘇子瞻詩集

蘇子瞻詩集

蘇子瞻詩集

蘇子瞻詩集

